

2008年 5月23日
株式会社 博報堂

4月末に調査した2008年5月の「消費意欲指数」の結果がまとまりました。
2008年5月の消費意欲は、先月から1.0ポイント増加し、
52.7点でした。

前年同月比は0.2ポイントの減少。5月としては2005年以降の最低値。

「消費意欲指数」は、月別の消費の先行指標として、1993年より注目されているデータです。

4月末時点で、博報堂生活総合研究所の調査パネルである一般生活者415名に対し「消費意欲（モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求）が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの2008年5月の消費意欲は何点ぐらいでしょうか？」と質問した結果が、「5月の消費意欲指数」です。

この消費意欲指数は、月別の消費を占う先行指標として、1993年4月の調査開始以来、幅広く活用して頂いています。

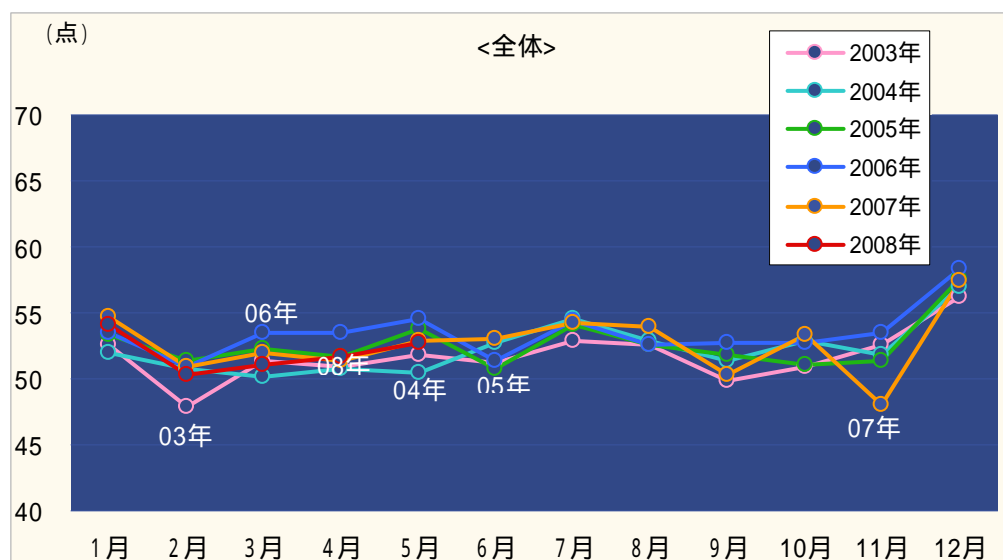
2008年5月の消費意欲指数は先月から1.0ポイント増加し、52.7点でした。

2008年5月の消費意欲指数は先月から1.0ポイント増加し52.7点でした。前月6ヶ月ぶりにプラスになった前年同月比は再び0.2ポイントの減少となり、5月としては2005年以降の最低値になりました。

財務省や日銀の最新の発表では景気判断が下方修正されています。08年3月期の業績予想を下方修正する企業も前年の同時期より大幅に増加しています。

暮らしの面では食料品など身の回りの商品の値上げや電気、ガス代などエネルギー関連の値上げが相次いでいます。総務省発表の3月の消費者物価指数も大幅上昇です。内閣府発表の4月の街角景気も現状、先行きともに悪化しています。5月初めにはガソリンの暫定税率の復活もありました。このように最近の経済環境は消費意欲のアップにはなかなかつながらない厳しい状況です。

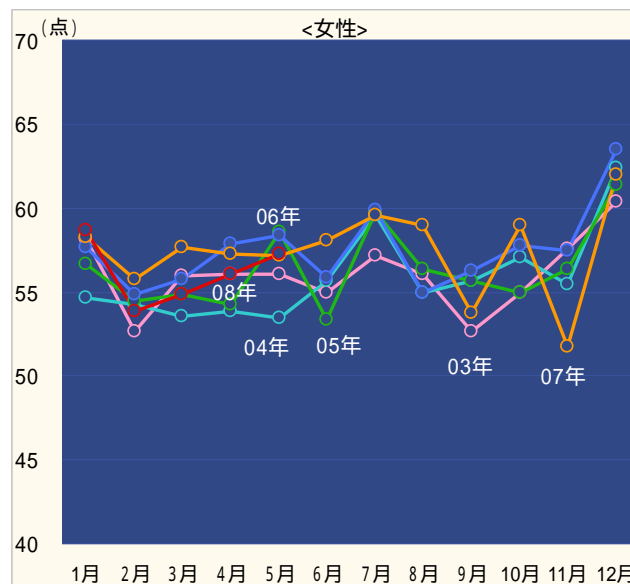
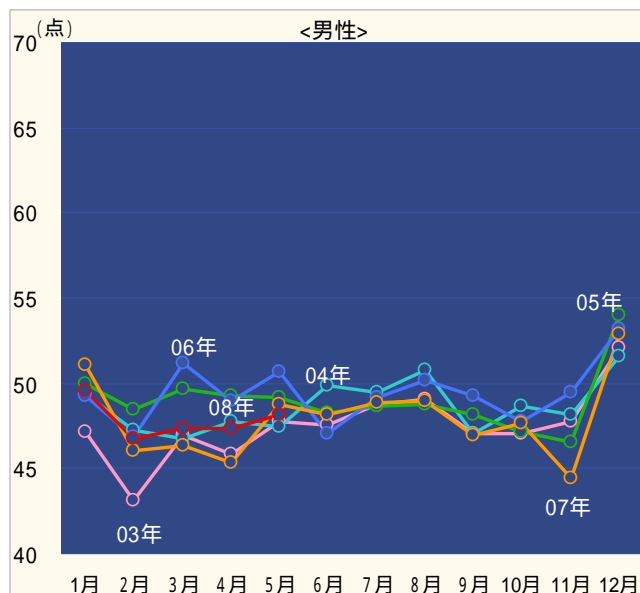
しかし、5月の消費意欲指数は前月に比べ増加しました。これは、ゴールデンウィークのレジャー消費など季節的な要因によるものだと思います。



男性の指数が4ヶ月ぶりに前年割れ。一方、女性は4ヶ月ぶりに前年超え。

男女別の消費意欲指数は、男性が先月比で0.7ポイント増の48.1点、女性が1.2ポイント増の57.2点となりました。前年同月比は男性が0.7ポイント減で4ヶ月ぶりに前年割れ、女性は0.1ポイントの微増でしたが4ヶ月ぶりの前年超えとなりました。

同時調査の生活力点では、5月は行楽シーズンということもあり男女ともに「趣味・遊び」や「余暇・レジャー」項目の数値が高くなっています。「モノ消費」項目は先月に比べ若干持ち直していますが、「日常的な小さな買い物」は男女ともに相変わらず低い水準で推移しています。特に女性は「日常的な」「中くらいな」「大きな値の張る」買い物のいずれも前年の5月に比べダウンしています。女性の財布の紐は依然固いようです。



博報堂生活総合研究所のHP (<http://www.seikatsusoken.jp/>)では、「消費意欲指数」も含め、生活者に関する調査データにご自由にアクセスすることが可能となっております。是非一度ご覧ください。

【調査概要:HILL ネット調査】

調査地域:首都圏 / 調査対象者:19~73才の男女個人415人 / 調査方法:郵送法

本件に関するお問い合わせ

博報堂広報室 大野・西尾 (03-6441-6161)

博報堂生活総合研究所 (03-6441-6450)

